

**「令和6年度食の安全安心相互交流理解度アップ事業」に係る
地方懇談会開催状況**

令和7年3月31日現在

圏域	開催年月日	開催場所	開催内容	参加対象者	担当窓口
大河原 (4回)	令和6年 10月30日	村田町	「仙南地区生活研究グループ連絡協議会研修会」 仙南地区で農産加工等を行う女性農業者グループを対象に研修会を開催し、県の郷土食（はらこ飯）等の調理実習や我が家の自慢料理の紹介を通して、地域の食文化への理解を深めたほか、食品衛生法の改正点について紹介し、食の安全安心についての啓蒙を図った。	生産者 行政	大河原地方振興事務所農業振興部
	令和6年 11月21日	大河原町	『食中毒予防講習会』 例年冬季に発生しやすいノロウイルスによる食中毒の予防についての講習会を実施した。 株式会社日本微生物研究所の社員が講師となりノロウイルスの基本的な知識と具体的な対策について、スライドやパンフレットを用いての講習であった。	事業者 行政	仙南保健所
	令和7年 1月14日	大河原町	「食品衛生法に関する研修会」 農産加工への取組意向を持つ新規就農者を対象に研修会を開催し、食品加工に係る届出・許可やHACCPに沿った衛生管理等、食品加工の留意点について理解を深めた。	生産者 行政	仙南保健所／大河原地方振興事務所農業振興部
	令和7年 2月3日	村田町	「令和6年度村田ファーマーズ総会・研修会」 道の駅出荷者を対象に、県の園芸流通ビジネス相談員を講師に研修会を開催し、消費者が安心して購入できるよう、農作物の品質基準及び売り場の清掃の改善について理解を深めた。	生産者 行政	大河原地方振興事務所農業振興部

栗原 (1回)	令和6年6月17日～7月17日	栗原市	「ズッキーニフェア」 栗っこズッキーニフェア(6/15～7/15)の期間中、元気くん市場仙台南で栗原産ズッキーニの販売を通じて、産地PRとともに栗原の農業や生産者の想いについて情報発信した。 また、同期間中にSNSへズッキーニ料理の投稿企画を実施した。	生産者 消費者 行政	北部地方振興事務所栗原地域事務所農業振興部
東部 (3回)	毎月(8月、11月を除く)第3水曜日	石巻市	「「みやぎ水産の日」地域のちいさな展示販売会等の実施」 管内で生産された旬の水産物及び地元企業が県産原料を主として製造した品質確かな水産加工品等の販売を通じて、食育や地産地消の推進と県産水産物等の消費拡大を促すため、年10回「みやぎ水産の日」展示即売会等を開催した。	生産者 事業者 消費者 行政	東部地方振興事務所水産漁港部
	令和6年10月5日	石巻市	「木の日記念 地域の小さな販売会」 石巻地域の農林水産物を広く県内の消費者にPRするため開催し、生産者や木工業者等出展のもと、宮城県産きのこや木工品、ジビエ加工品などの山の幸の販売・PRを実施。	生産者 消費者 行政	東部地方振興事務所林業振興部
	令和6年12月11日	石巻市	『くらしの講座(海と大地の恵みを食卓へ)』 参加者が有する地元食材を使用したレシピを共有し、皆で調理実習することで、地域の食材の再発見や食文化の伝達を図った。 また、活動を通じ、農林水産業に従事する女性農業者等のネットワーク化が促進された。	生産者 行政	東部地方振興事務所農業振興部

登米 (1回)	令和7年 1月17日	登米市	「農業経営セミナー」 国では、持続可能な食料システムを構築するため、「みどりの食料システム戦略」に基づき、食料システム全体での環境負荷低減の取組や国民理解の醸成に向けた取組を推進しており、わが県でも「みどりの食料システム戦略推進ビジョン」を策定している。 環境にやさしい、持続可能な農業の取組は広い意味で食の安全、安心につながることから、わが県が目指すみどりの食料システムについての情報提供と意見交換を行った。	生産者 行政	東部地方振興事務所登米地域事務所農業振興部
気仙沼 (2回)	令和6年 6月、10月 (第三水曜日)	気仙沼	「気仙沼合同庁舎水産物直売会」 「みやぎ水産の日」に合わせて地元水産物の消費拡大と地域住民への安全で安心な水産物を提供するため、気仙沼合同庁舎1階ロビーにおいて水産物の直売会を実施した。	事業者 消費者	気仙沼地方振興事務所水産漁港部
	令和6年 5月23日	気仙沼市	『たけのこ料理講習会（調理実習、実食、意見交換）』 管内には、モウソウチクやマダケの竹林が多く、竹林の活用を目指した取組が広がりつつあることから、地域食材としての活用について調理実習を通して検討した。	生産者 行政	気仙沼地方振興事務所農業振興部
合計	10回				

参考

- ・ R6 計画 9回 実績 11回
- ・ 基本計画における目標 R7 20回